

特集

酒造と観光

テロワールを活かす新しい酒蔵の形

貴社
記事掲載誌

総合ユニコム

負債1400億円を背負った男の逆転人生 鹿沼カントリー倶楽部再生物語



銀行マンから巨額負債を抱えるゴルフ場運営企業のオーナーへ。先代の放漫経営による民事再生法申請から、「普通の企業」になるべく奮闘する経営者と企業の再生譚。ゴルフブームからバブル経済、バブル崩壊など業界を取り巻くマーケット環境ともリンクさせながら、当時の著者の苦悩と復活をリアルに伝える。

福島範治＝著

発行／日経BP
定価／1,870円（本体1,700円）

強いブランドをつくる キャラクターマーケティングの新しい教科書



SNSも含めた多メディアでの情報発信が当たり前になったいまこそ、タレントと比較して制限の少ない企業キャラクターが活きる場面が広がっている。デザインや世界観構築のポイントはもとより、キャラクターのクオリティを保ちながら持続的に活用するための要点までがわかりやすくまとまった一冊。

山本達也・糸乗健太郎＝編

発行／翔泳社
定価／2,200円（本体2,000円）

DMOと観光行政のための マーケティングとマネジメント

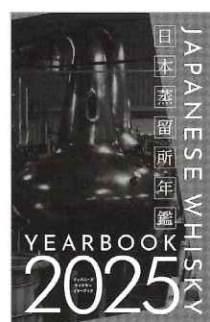


観光客の「訪れてよし」、住民の「住んでよし」が両立し、地域が「稼いでよし」となるには。行政が担う規制や基盤整備などマネジメント術と、地域の魅力のPRや誘客を担うDMOのマーケティング術、それぞれの役割と機能につき再整理。デジタルプロモーションやオーバーツーリズムなど喫緊の課題についても俎上に。

高橋一夫＝著

発行／学芸出版社
定価／3,080円（本体2,800円）

日本蒸留所年鑑 JAPANESE WHISKY YEARBOOK 2025



今年で3冊目となるイヤーブック。2023年版は76か所だった国内の蒸留所数は2年後の25年版では124か所へと増加した。ブームが続く背景を統計資料やデータを交え解説する。立地や歴史から特徴、設備スペック、発売ボトルなどまで、個別の蒸留所情報も興味深く読める。

土屋守、ウイスキー文化研究所＝著

発行／ウイスキー文化研究所
定価／3,080円（本体2,800円）